



犬・笑・暮だより vol.61

暑さ対策② ～夏バテ予防～



さて、暑さ対策シリーズ2回目の今回は、夏バテの予防です。ワンちゃんも、そのコによって、暑さに対する感覚はいろいろ。知人のミニチュア・ピンシャーなどは、この暑さの中でもペランダで日向ぼっこをしています。犬種によっても、暑さに強いタイプと弱いタイプがいますね！

暑さに弱いワンちゃん？

北方原産のワンちゃんたちは、被毛も寒さに強いようになっているので、暑いところでの生活には、どうしても向かない傾向があります（シベリアン・ハスキーやサモエドなど）。

地面からの照り返し熱を受けやすい小型犬や足の短いワンちゃんは、お散歩の時、特に注意が必要です（コーギー、ダックス、マルチーズ、シー・ズーなど）。

太陽の熱を受けやすい黒い毛のワンちゃんたちは、身体全体が暑くなることがあります。

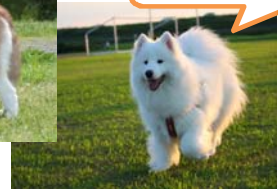
口吻（こうぶん／マズル、口先部分）が短いワンちゃんたちは、口の中の空間が狭いので、舌を出してハッハッと荒く息をして口の中の温度を下げるのが不得意です（パグ、フレンチブルなど）。

子犬や老犬、また、太ったワンちゃんたちは、体力が不足していると体調を維持するのが大変で

北からやってきたシベリアン・ハスキー



寒さには強いサモエドです



足が短いコーギーです



夏の散歩が苦手なシー・ズーです



口吻の短いパグです。そして黒毛なんです～



夏バテを予防するために

日本の夏は、高温多湿。私たち飼い主にとっても暮らしにくい季節ですが、汗をかいて気化熱で体温を下げるということが出来ないワンちゃんたちにとってはもっと厳しいはず。暑い日は、濡れタオルを身体にかけてあげるなど、少しでも涼しく暮らせる工夫をしてあげましょう。

ケージやベッドで寝る習慣のあるワンちゃんたちには、暑い空気がこもらないように、空気の入替えをしてあげましょう。風通しのいい場所にベッドを移動させたり、扇風機やうちわで時々風を送ってあげるのも有効です。

お部屋の中で居心地の良い場所を探して移動できるように、フリーにできる範囲を広げてあげるのもいいかも知れません。玄関のタイルはひんやりと冷たくて、結構お昼寝に向いていますよ。

新鮮なお水はいつでも飲めるようにしておいてあげましょう。

なかなかお水を飲まないワンちゃんは、朝晩の食事の時にフードにお水を入れてあげるのも有効です。一日の水分摂取量をだいたいでいいので把握しておきましょう。いつもより極端に水分を取っていない日には、水分保有率が高い食べ物をあげるのも有効です（身体に害の無い果物など）。

部屋の温度をいつも低めに設定しておく、外気との気温の差がありすぎて、外気に触れた時に体調を崩してしまうことがあります。ワンちゃんのために快適な空間を目指すのは大切なことですが、少しずつでも暑さに慣らすのも必要。ワンちゃんの調子に気をつけながら過保護にならないようにするのも大切です。

暑い季節は、衛生面にもいつも以上に注意が必要です。



愛犬に関するお住まい・お庭のお悩みは **庭遊館** にお気軽にご相談下さい



携帯サイトはコチラ！！

庭園工事・外構工事・管理・設計施工

株式会社 庭遊館

〒504-0945 各務原市那加日新町6-65

TEL 058-216-3110

FAX 058-216-3113

<http://www.teiyukan.jp>

